

**令和 2 年度 第 2 回
富士見市障害者市施策推進協議会議事録**

日 時	令和 2 年 1 1 月 2 0 日 (金)		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 4 0 分		
場 所	富士見市民総合体育館 多目的室					
出 席 者	委 員	小菅委員	田嶋委員	朝倉委員	阿部委員	小川委員
		○	○	○	欠	欠
		木内委員	木根渕委員	小寺委員	斉藤委員	瀬尾委員
		欠	○	○	欠	○
		橋本委員	藤山委員	古川委員	星野委員	細野委員
		○	○	○	欠	○
		三川委員	山道委員	横山委員		
	○	欠	欠			
事 務 局	障がい福祉課 益子課長、水口副課長、谷沢係長、三浦係長、石黒係長、池田主任、谷田主任					
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>（1）富士見市地域生活支援拠点等の整備について</p> <p>（2）第 4 期富士見市障害者支援計画における障がい者計画実施状況調査について</p> <p>（3）富士見市障がい福祉についての実態調査について</p> <p>（4）第 5 期富士見市障がい者支援計画(案)について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>					

議事内容

事務局	1. 開会
会長	2. 会長あいさつ
部会長	<p>3. 協議事項</p> <p>(1) 富士見市地域生活支援拠点等の整備について ⇒資料にそって、相談支援部会長から説明</p> <p>地域生活支援拠点等とは、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制のこと。</p> <p>居住支援のための主な機能は、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの5つを柱とし、厚生労働省では、障害福祉計画の基本指針に位置づけて整備を進める方針を示していることから、相談支援部会では、平成30年度から協議してきたもの。</p> <p>富士見市は面的整備で実施し、基幹相談支援センターが調整の役割を担う。これまでの協議により一定の準備は整ったため開始したい。段階毎に進めていきながら、今後、生じる課題については、協議して改善を図る。</p>
委員	<p>【質疑応答】</p> <p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて、現在の進捗はいかがか。ロードマップで示してほしい。</p>
会長	<p>相談支援部会には、専門チーム別でも協議をしており、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの整備については、相談支援部会の精神障がいチームで協議している。また地域生活支援拠点の整備については拠点チームで協議を進めているが、ケアシステムと拠点等の仕組みで重複することがあり、今後、調整の協議を行っていく。現在は、その選別作業を行っている。</p>
委員	<p>拠点等の整備については、国の基本指針に基づき、富士見市は面的整備で実施することを認識している。その整備のなかで、強みと弱みを生かして、具体的にどのように検討しているか伺いたい。</p>
部会長	<p>会議では、関係事業所の職員に参加してもらって検討している。例えば、ゆいの里福祉会やみよしの里に対する緊急時の対応について、フローチャートを作成した。実際には、これまで、緊急案件が少ないのが現状である。今後、令和3年1月から準備ができ次第、事業を開始したいと考えている。</p>
会長	<p>事業の開始の承認について、この場にて、委員の皆さんにお諮りしたい。</p>

委員	全員承認。
会長	承認されたため、準備が整い次第、開始してください。
事務局	<p>(2) 富士見市障がい者支援計画における障がい者計画実施状況調査について ⇒資料に沿って、事務局から説明および報告 質疑はなし</p> <p>(3) 富士見市障がい福祉について (4) 第5期富士見市障がい者支援計画(案)について ⇒(3)(4)の資料にそって、事務局から説明</p>
委員	<p>【質疑応答】</p> <p>障がい者の虐待防止の啓発広報について何か考えてはいるか。</p>
事務局	家族や事業所から相談があった場合は対応しているが、新たな取組は特にない。
委員	神奈川県で発生した職員による虐待事案は、職員が虐待だと思わなかったとの話であったため、まだまだ理解が進んでいないと感じている。通報も義務であり、啓発の強化をお願いしたい。
委員	あいサポート運動については積極的に取り組んでいると思っている。市の新入職員に講話をしたが、若い人の方が、理解があるように感じた。またバリアフリーについては、職員には、聴覚障がい者がいつも側にいることを考えてほしい。例えば、東日本大震災のときに施設外に避難するように放送があったとき、聴覚障がい者には聴こえなかった。鶴瀬西交流センターでは、避難訓練のときに聴覚障がい者が施設を利用していても、筆談で協力依頼をしてもらえなかったなど、配慮がないことがあった。防災のマニュアルを整備して、配慮を徹底してほしい。
事務局	確認する。
委員	素案のアンケートの医療的ケアに関する回答については、医療的ケアを受けていない人も回答しているように見受けられるため、医療的ケアを受けている人の中での割合ということがわかるようにした方がよい。
委員	災害時の対応についてや成年後見制度についての理解など、本文に入れた方がよいのではないか。
委員	将来どのように暮らしたいかというアンケート項目は、第4期計画にあったので、第5期も入れた方がよい。
委員	障がい福祉に関する富士見市独自の取り組みについても載せた方がよいのではないか。

事務局	<p>本日の資料を確認し、事務局あてに意見の提出をお願いします。本日の会議でいただいた意見と合わせ、事務局で協議し、反映したものを市長が確認する。2月ごろにパブリックコメントを4週間実施し、その結果を3月の協議会にて報告する。</p> <p>4. その他 次回の協議会 令和3年3月。</p> <p>5. 閉会</p>
-----	---

